

全2巻

関東大震災

新聞資料ライブラリー 監修

シリーズ
その日の新聞

シリーズその日の新聞

関

東

大

新聞資料ライブラリー 監修

震

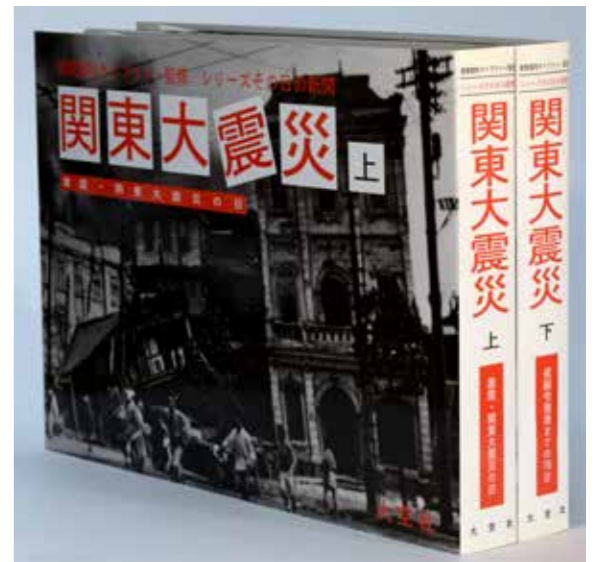
災

全2巻

販売・大空社出版 (発行・大空社)

- 【上巻収録紙一覧】 ※すべて大正12年
- 〔官報〕
 - 官報号外 9/2~5
 - 官報 9/4
 - 官報公告 9/5
 - 〔震災彙報〕
 - 震災彙報 9/4~10/23
 - 〔号外〕
 - 大阪毎日新聞号外 9/1~16
 - 小樽新聞号外 9/2~10
 - 大阪朝日新聞号外 9/2~9
 - 九州日報号外 9/2~9
 - 福岡日日新聞号外 9/2~16
 - 下越新報附録 9/3
 - 新愛知号外 9/3.4
 - 大阪毎日新聞名古屋附録号外 9/3~7
 - 京都日出新聞附録 9/3.5
 - 大阪毎日新聞山陽号外 9/3
 - 大阪毎日新聞福岡号外 9/3~6
 - 京城日報号外 9/3.4
 - 名古屋新聞号外 9/4.6
 - 名古屋毎日新聞号外 9/4.6
 - 軍港新聞号外 9/4
 - 東京日日新聞号外 9/5
 - 大阪朝日新聞附録 9/5~9
 - 国民新聞号外 9/7~10
 - 読売新聞号外 9/7~10
 - 北海タイムス号外 9/8
 - 大阪毎日新聞附録西部毎日号外 9/8~20
 - 東京朝日新聞号外 9/10.11
 - 荘内新報号外 1~23報
 - 鶴岡日報号外 1点 (日付号数無)
 - 帝国大学新聞号外 9/30.10/14
- 〔被害を受けた中央紙の復興後の新聞〕
- 都新聞 9/8
 - 万朝報 9/11
 - 時事新報 9/12
 - 東京朝日新聞 9/12
 - 読売新聞 9/12
 - 国民新聞 9/14
 - 中外商業新報 9/15
 - 二六新報 9/25

- 【下巻収録紙一覧】 ※すべて大正12年
- 小樽新聞 9/2~5
 - 京都日出新聞 9/2~5 夕刊
 - 大阪朝日新聞 9/2 夕刊 ~5 夕刊
 - 静岡民友新聞 9/3~5
 - 大阪毎日新聞京都滋賀附録 9/3.4
 - 大阪新日報 9/3 夕刊.4 夕刊
 - 駿遠日報 9/4
 - 新愛知 9/4
 - 日本織物新聞 9/4.5
 - 大阪毎日新聞東京新聞代用 9/4 夕刊
 - 信濃毎日新聞 9/5.5 夕刊
 - 静岡国民新聞 9/5
 - 大阪今日新聞 9/5
- 報知新聞 9/5~30
- 東京日日新聞 9/6~11/16

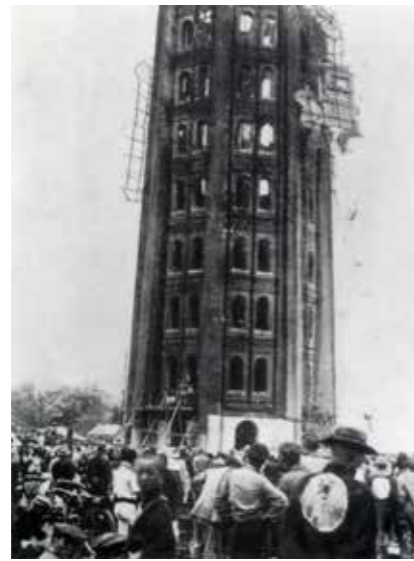


定価:38,446円(本体 34,951円+税10%)

大空社出版

〒114-0032 東京都北区中十条4-3-2
TEL: 03-5963-4451 / FAX: 03-5963-4461
E-mail: eigyo@ozorasha.co.jp

A3判(297×420^{mm}) 横長・各巻約400頁・上製角背・カバー装 / 1992年8月 大空社発行



半壊した浅草「十二階」凌雲閣



頭部が落下した上野大仏

上巻「激震・関東大震災の日」
下巻「戒厳令撤廃までの76日」

崩れる大都、逃げ惑う人々、未曾有の大地震

あの日から、来年で百周年…

1923年9月1日

関東大震災

全2巻

【特色】

■関東大震災が起きた日から2か月半の社会の全体像を伝える、全国の新聞を収録した初の集成

本集成は、関東大震災が起きた大正12(1923)年9月1日から、戒厳令が撤廃された同年11月16日までの全国の新聞等(延べ37紙)を分類・整理し、原則として全ページ収録しました。

■上巻は、日本全土がパニックと化した大正12年9月1日以降の実態

上巻は、関東大震災に関連する『官報』、公報の『震災彙報』、全国の主な新聞社が頒布した『号外』『附録』、大正12年9月1日から5日までの全国の主な新聞社の朝刊・夕刊、及び震災の被害を受けた主な中央紙の復興後の記事を収録しました。日に何度となく発行された号外は、混乱と動揺、まさにパニックの実態を赤裸々に伝えます。

■下巻は、震災後に起きる様々な問題と貴重な歴史的教訓を今日に示唆する

下巻は、関東地区の新聞社の中で、震災による被害が比較的少なかった『報知新聞』『東京日日新聞』の大正12年9月5日から、戒厳令が撤廃された同年11月16日までの記事を収録しました。震災後に起きる様々な問題(衣食住、銀行預金の支払い停止、火災保険、商品価格の暴騰と下落、教育問題、復興資金、労働問題など)は、汲めども尽きぬ歴史的教訓を今日に示唆してくれます。

■上巻巻頭には羽島知之氏の解説「関東大震災と新聞」を掲載

上巻巻頭に、本集成監修者・新聞資料ライブラリー代表・羽島知之氏の「関東大震災と新聞」を掲載し、震災当時の新聞報道の実態をわかりやすく解説しています。

■下巻巻末に「新聞に見る震災後の社会の主な動き」を掲載

下巻巻末に、本集成収録記事をベースとして「新聞に見る震災後の社会の主な動き」を掲載、「政治・経済」「生活・文化・世相・時事」「その他」の3つにジャンル分けし、日を追って震災後の変化がわかるようにしました。将来の震災に備える目安としても活用できます。

■大地震に関わるあらゆる団体・組織・機関から、関心がある個人まで、必読文献！

新聞資料ライブラリー所蔵の、号外をはじめ稀覯新聞記事を底本とした本集成は、今後想定される大地震に関心を持つすべての人々にとって重要な必読文献といえます。

■歴史資料としても興味のない新聞コレクション、図書館必備図書！

当時のナマの新聞から、関東大震災がもたらした社会の変動が手に取るように読み取れます。歴史の第一級資料として、**図書館必備図書**といえます。



本書・上巻より

新聞各頁はA2判を二つ折りにした折り込み(上は展開した状態)

号外は原寸大、他新聞等は70~80%に縮小して収録